

老健

vol.59

2026.8

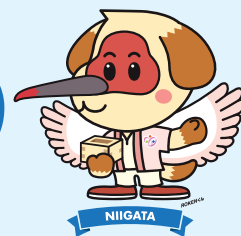
# にいいがた



長岡花火白菊（介護老人保健施設てらどまり職員提供）

- 1 ● 巻頭言
- 2～4 ● 特集：介護米百俵賞受賞演題「もう一度スタジアムへ」の取り組みについて
- 5～6 ● 協会だより
- 7～9 ● 委員会紹介
- 10～12 ● 研修会報告
- 13～16 ● こんなことやってます!!～会員施設の取り組み～
- 17～18 ● 老健マップ
- 19 ● みんなの広場

表紙：風景の  
写真を募集  
しています!!



ROKEN くん

新潟県介護老人保健施設協会

# 会長就任にあたり

新潟県介護老人保健施設協会

会 長 荒 川 太 郎



この度、新潟県介護老人保健施設協会の会長職を仰せつかりました。思えば、老健の歩みを支えてこられた多くの先達の姿が胸に浮かび、身の引き締まる思いです。長谷川まこと前会長をはじめ、長きにわたり協会を導いてこられた歴代会長、そして日々の現場を支えてこられた会員施設の皆様に、深い敬意と感謝を申し上げますとともに、微力ではありますが皆様のご協力をいただきながら務めを果たしていきたいと思います。

昨年、6年ぶりに新潟県介護老人保健施設大会を開催することができました。私自身、初めての参加でしたが、県内各地から日頃の実践を基にした26題もの発表が寄せられ、多くの皆様にご参加いただき、会場には久しぶりに活気が満ちあふれました。やはり、こうした大会には独特の熱量と学びがあり、「老健で働く仲間が集う場の力」を改めて実感いたしました。日々の業務の中では「自分たちの取り組みはこれでよいのか」と迷うことばかりですが、他施設の発表や意見交換は自らの実践を見つめ直す機会となり、明日への糧となります。大会後の皆様の晴れやかな表情が、そのことを物語っていました。今後も多くの皆様に積極的に参加していただきたいと願っております。

私たちの組織は、全国の老健施設とつながるネットワークでもあります。制度改正や報酬動向、ケアの新しい潮流、ICT・DXの活用など、現場に役立つ情報を迅速に提供し、会員間で共有していくことは支部としての大切な使命です。また、研修会を通じて職員が学びを深める機会をつくり、広報誌による情報交換や地域社会への発信も

強化してまいります。さらに、会員アンケート等による実態把握を行い、必要に応じて行政への要望として届けることで、現場の声を制度に反映させる役割も果たしていきたいと考えています。老健で働く皆様が誇りと元気をもって日々の業務に向き合えるよう、今後も活動を進めてまいります。

老人保健施設は1986年の老人保健法改正により誕生しました。この40年は、災害や新型コロナウイルス感染症など、決して穏やかな道ではありませんでした。この日々を支えてきたのは、現場で働く職員一人ひとりの覚悟と優しさであり、その献身は老健の歴史に刻まれるべき尊い営みです。そして今、私たちは急速に進む人口減少社会という、これまで経験したことのない局面に向き合っています。世界ではウクライナ、イスラエル、中東の混乱が続き、原油価格の高騰や供給不安が私たちの暮らしを揺らしています。施設整備や設備更新のコストは高騰し、医療・介護・福祉の経営はかつてない厳しさに直面しています。こうした中、全老健が毎年発行している『介護白書—老健の立場から—』には今までの歴史に加え、現状をまとめ、これからの新しい視点や提言も示されており、私たちにこれからの未来への示唆を感じさせる内容になっています。ぜひ多くの皆様にご活用いただき共に未来を考えてもらいたいと思います。

老健で働く皆様が、誇りと温かさを胸に、そして元気でいられますように。皆様と共に歩み、支え合い、未来をつくる協会でありたいと願っていますのでご協力よろしくお願い申し上げます。



## 特集

# 介護米百俵賞受賞演題 「もう一度スタジアムへ」 の取り組みについて

介護老人保健施設おぎの里（社会医療法人新潟県勤労者医療協会、入所：100名、通所35名）は、広大な水田の広がる秋葉区荻川地区に位置し、五頭連邦、角田山・弥彦山を望むことができる。近くには国道403号「フラワーロード」、県立植物園の他、国史跡である古津八幡山遺跡もあり、四季折々の自然と歴史ある風景に囲まれている。

昨年度、6年ぶりに開催した新潟県介護老人保健施設大会において、M様の思いに寄り添った取り組みを発表し、栄えある介護米百俵賞を受賞した演題「もう一度スタジアムへ」についてや老健で行うACP（アドバンス・ケア・プランニング）についての取り組みを伺うべく取材を行った。



渡邊看護主任



栗原管理士長



松岡介護主任



## —まずは介護米百俵賞を受賞した感想を教えてください

**渡邊看護主任：**昨年度の新潟県介護老人保健施設大会で学術奨励賞を受賞した際も十分に驚きましたが、さらに今回の介護米百俵賞の受賞については、3人で「えっ？」と自然と声が出て、顔を見合わせました。それくらい驚きの気持ちでした。故人となったM様も天国で心から笑顔で喜んでくれていると思います。また研究発表だけにとどまらず、日々のケアに取り組んだ職員やM様のご家族、アルビレックス新潟の広報担当の方など関わった全ての皆さんのおかげで、大変光栄な賞をいただくことができました。本当にありがとうございました。



受賞後に荒川会長と一緒に記念写真

## —施設としての ACP についての取り組み状況や考え方を教えてください

**渡邊看護主任：**おぎの里では、今回取り上げたM様以前より、ACP について取り組んでいます。老健として、多くの看取りを行う中で、様々な後悔を感じている職員がいました。例えば、終末期に食事量が低下したご利用者に対して、嚥下機能を考慮しヨーグルトを食事介助していたことがありました。後日、そのご利用者は、ヨーグルトが苦手だったことがわかりました。そういった様々な思いを通して、2021年に施設内で ACP 委員会が立ち上がったことが始まりでした。太刀川朗施設長が先頭に立ち、「老健だからこそ、ACP を行うべき場所。避けては通れないもの」というメッセージのもと、施設内で研修を行いました。最初は「ACP って何？」といった基礎的なものからスタートし、歴史的側面や事例などを交えておこないました。協力病院である下越病院とも情報共有した上で、おぎの里オリジナルの ACP について、本人用と家族用の意向確認用紙を作成しています。現在は、入所時に相談員からご家族に対して、ACP についての説明と家族目線での考え方を記してもらいます。



太刀川施設長からの講義の様子

**栗原管理士長：**ご本人に対しては入所後、1週間程度を目途に ACP について、現場の担当になった職員が聞き取りを行っています。単なる聞き取り作業にならない様に、コミュニケーションを図りながらご本人の考え方や希望を確認しています。その後、初回カンファレンスで多職種と共有しています。

**松岡介護主任：**他のご利用者では、終末期に飲酒を希望した方に喀痰吸引が必要な状態でしたが、本人の意向を尊重し提供したこともありました。また100歳を超えるご利用者で、医師との話の中では点滴を希望されましたが、ケアスタッフには点滴を行いたくないという本音を話してくださり、点滴をやめ看取った方もいました。嗜好や思い出の場所、生き方などのエピソードといった本人らしさを大事にしています。

**渡邊看護主任：**ACP は確認して終わりではありません。また終末期に確認するのでもありません。日々のケアや何気ない関わりの中でご本人の意向や思い、大切にしてきた物事など、言葉のかけらを受け止め、記録に残すように意識しています。終末期の際には、それらを大切にしてお人らしい終末期に何ができるかをご本人はもちろん、ご家族や職員と相談して実践しています。

## —M様の意向を大切にする上で大切にしたこと・注意したこと

**渡邊看護主任：**M様は、シーズンパスポートを持つほどの熱狂的なアルビレックス新潟の大ファンでした。当初はリハビリ目的の入所でした。しかし、繰り返しの転倒や病状の変化を経て病院へ受診を行った結果、難病である多系統萎縮症と診断されました。それでも、自身の意思や考えをしっかりと持っている方でした。寝たきりでベッド上で過ごすことが主になっても、アルビレックス新潟の応援にスタジアムへ行きたいという意向を日頃から、しっかりと話してくれていました。居室もアルビレックスの応援グッズなどで溢れていました。そこで、アルビレックス新潟へM様の思いを動画として作成し送ったことから始まりました。ACP という意識ではなく、M様のために何かできることがないかを考えた結果だったと思います。多くの難題もありましたが、アルビレックス新潟広報担当の方も含めて、皆がM様の熱意に魅了され動いていたような気がします。





**栗原管理士長：**M様は、難病であっても自身らしさを体現されていた方でした。ACPを学んでいた職員としては、M様の思いに寄り添い、一緒に突き進ませていただいた形でした。そのため、施設内でも病気のリスクやADLの制限などを理由に否定をする職員もいませんでした。

### —M様の事例で取り組んだ結果、良かったこと

**渡邊看護主任：**アルビレックス新潟の観戦を計画する上で、リハビリ職と協働し離床時間を増やすことから始めました。また道のりや到着後の動線、観戦する場所からピッチを見るためのリクライニング車イスの角度など細かな部分まで下見を行いました。観戦当日は、ご家族の他、医師、看護職、リハビリ職、事務長、介護職の複数名が有志として同行し、M様の意向を叶えるため、職種や役職間の垣根を越えて、協力してくれました。当初は体調面を考慮しハーフタイムで帰園する予定でしたが、M様の強い意向で試合終了まで観戦することができました。またアルビレックス新潟の勝利も重なり、プラネタスワン（ライト）を光らせ祝福できました。M様の願いが叶ったことで、皆が忘れられない1日となりました。

**栗原管理士長：**M様と一緒に取り組んだ結果、施設内では専門職種間の壁を越えて、本人の意向を優先する文化が構築されました。できないと思うことをさせてくれた、職員を動かしてくれた人であり、おぎの里では、「その人が言っている」という原動力をもとにACPを推進してくれた事例となりました。結果として、職員としてはACPを行う上で大切な「その人らしさ」のあるべき姿を学ばせていただきました。

**松岡介護主任：**ケアスタッフとしても、本人の意思を尊重したケアを行うことで、後悔することが減少しました。看取りでも、「その人らしさ」を叶えるために職種を超え、チームとして一緒に取り組む雰囲気が生まれました。

### —取り組んだ結果の施設や職員の変化について

**渡邊看護主任：**M様の事例を通して、職員の終末期ケアについての目線が変わり、本人の好きだったものや生き方などをケアに活かす必要性を全スタッフが認識しています。またACPを行う上での原動力にもなっています。今回の介護米百俵賞の受賞ももちろんですが、地方新聞に取り上げられるなど、取り組みが評価いただいたことも職員のモチベーションにつながりました。

**栗原管理士長：**できないことを前提にネガティブに考えるのではなく、どうしたら本人の意向に添えられるか？何かできることがないか？などポジティブに考えられるようになっていきます。日々のケアの中で交わす、コミュニケーションの中で得られるご本人の言葉を大切に受け止めるようになりました。

### —今後の取り組みについて教えてください

**渡邊看護主任：**ACPについて、ご利用者の思いをケアに活かす大切さを学んだので、これからも継続していききたいです。この他にも、認知症ケアにも力を入れていきたいと思っています。超強化型老健として、入退所が多くなるところや稼働率の維持など大変な部分がありますが、太刀川施設長含めて、施設全体で学びを深められるように取り組んでいきたいと思っています。



ピックスワンでの観戦の様子



当日はM様の家族も大勢集まりました

## 令和7年度臨時総会・支部総会開催

令和7年度新潟県介護老人保健施設協会臨時総会を書面にて開催いたしました。

**第1号議案 令和8年度事業計画（案）について**

**第2号議案 令和8年度収支予算（案）について**

**第3号議案 新潟県介護老人保健施設役員の選任について**

会員施設数81施設のうち、51施設のご提出をいただき、過半数の承認をもって可決されました。

新潟県介護老人保健施設協会 役員（任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日）

| 役職  | 役員氏名    | 施設名   | 役職  | 役員氏名    | 施設名     |
|-----|---------|-------|-----|---------|---------|
| 会 長 | 荒 川 太 郎 | やすらぎ園 | 理 事 | 金 沢 宏   | 女池南風苑   |
| 副会長 | 佐 野 英 孝 | 常 盤 園 | 監 事 | 石 田 央   | 越 南 苑   |
| 副会長 | 田 中 弘   | 楽 山 苑 | 監 事 | 長谷川 まこと | 三川しんあい園 |
| 理 事 | 戸 澤 和 夫 | 三面の里  |     |         |         |

令和7年度公益社団法人全国老人保健施設協会新潟県支部総会を書面にて開催いたしました。

**第1号議案 全国老人保健施設協会 新潟県支部長選任について**

**第2号議案 全国老人保健施設協会 代議員・予備代議員選任について**

会員施設数79施設のうち、53施設のご提出をいただき、過半数の承認をもって可決されました。

（公社）全国老人保健施設協会 新潟県支部（任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日）

| 役職      | 役員氏名    | 施設名   | 役職    | 役員氏名    | 施設名   |
|---------|---------|-------|-------|---------|-------|
| 支部長・代議員 | 荒 川 太 郎 | やすらぎ園 | 予備代議員 | 佐 野 英 孝 | 常 盤 園 |
| 代議員     | 石 田 央   | 越 南 苑 | 予備代議員 | 田 中 弘   | 楽 山 苑 |

## 令和8年度通常総会開催

令和8年度新潟県介護老人保健施設協会通常総会が令和8年5月26日（火）ホテルイタリア軒にて開催されました。

冒頭、荒川太郎会長よりあいさつがあり、その後事務局より会員数80名のうち、出席会員8名（他に代理出席2名）、委任状提出会員65名で計73名との報告があり、定足数を満たしたことから本総会は成立しました。

議長には「緑樹苑」飯沼泰史様、議事録署名人は「千歳園」小柳ひとみ様が選任され、令和7年度事業報告・収支決算報告について事務局が説明を行いました。

**第1号議案 令和7年度事業報告（案）について**

**第2号議案 令和7年度収支決算（案）について**

いずれも全員賛成により原案通り議決されました。

総会后、令和7年度新潟県介護老人保健施設大会において学術奨励賞を受賞された「おぎの里」、「ほほえみの里きど」、「楽山苑」の発表者、共同研究者の皆様へ表彰状が授与されました。

続いて学術研修担当理事の金沢宏理事より介護米百俵賞の発表を行い、「おぎの里」が受賞され、表彰状と目録が贈呈されました。



通常総会の様子



上段左より、ほほえみの里きど：水落さん、二瓶さん、楽山苑：関塚さん、荒川会長  
下段左より、おぎの里：松岡さん、栗原さん、渡邊さん



## 令和8年度 事業計画

### 1 会議

- (1) 通常総会 規約第11条の規定に基づき、年1回開催する。
- (2) 役員会 必要に応じて開催する。

### 2 委員会

- (1) 事務長会委員会 実務的な問題を検討し、事務長会議・研修会等、その解決に向けて必要に応じた活動を行う。
- (2) 学術研修委員会 新潟県介護老人保健施設大会及び介護サービスの質の向上に資する研修会を開催するための活動を行う。
- (3) 広報委員会 広報誌「老健にいがた」の企画立案、編集及び発行を行うとともに、協会ホームページの運営に関する活動を行う。
- (4) トラブル防止検討委員会 事故・トラブルの未然防止を主目的とした活動を行う。

### 3 新潟県介護老人保健施設大会

令和8年度新潟県介護老人保健施設大会を開催する。

【開催日】令和8年10月2日（金）

【会場】新潟テルサ

### 4 施設運営アンケートの実施

介護報酬改定のアンケート等を必要に応じて実施する。

### 5 研修事業

- (1) 事務長会委員会  
介護報酬改定の研修会や実務的な問題の解決に向けた研修会を企画運営し開催する。
- (2) 学術研修委員会  
新潟地区と中越地区でそれぞれ2回、介護サービスの質の向上に資する研修会を企画運営し開催する。
- (3) トラブル防止検討委員会  
事故・トラブルの未然防止に向けた一環として、ひやり・はっと事故防止対応研修会を企画運営し開催する。

### 6 機関誌の発行

機関誌「老健にいがた」第59号・第60号を発行する。



# 委員会紹介

任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日

## 各委員長に抱負を伺いました

### 事務長会委員会

委員長 いっぱく 事務長 五十嵐 信行

委員長を務めさせていただきます五十嵐信行と申します。

事務長会議は、年1回の開催としております。今年度は、令和9年度介護報酬改定に向けた動向について、全国老人保健施設協会より講師をお招きし、改定内容のポイント等をご講義いただく予定です。

また、年一度の貴重な機会でもありますので、引き続き意見交換の場を設け、参加者相互の交流を深めてまいりたいと考えております。

なお、今年度より会議の日程が、従来の2月から11月に変更しております。会員施設の皆様には事前にご案内をいたしますので、多くの施設よりご参加いただければ幸いです。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

|          | 施 設 名       | 氏 名     |
|----------|-------------|---------|
| 担当理事（会長） | や す ら ぎ 園   | 荒 川 太 郎 |
| 委 員 長    | い っ ぱ く     | 五十嵐 信 行 |
| 委 員      | く び き の     | 田 原 智   |
|          | 江 風 苑       | 勝 田 千恵美 |
|          | 晴 和 会 田 上 園 | 小 林 栄 蔵 |
|          | て ら ど ま り   | 富 田 幸 二 |

### トラブル防止検討委員会

委員長 三川しんあい園 堀 一二美

前期から引き続き委員長を務めることになりました三川しんあい園の堀と申します。

今年度は、引き続きトラブル防止に関するアンケート調査、集計後の結果報告とリスクマネジメント研修会を実施する予定です。各施設の調査集計を担当する方々は日頃の業務のお忙しい中、ご協力頂き感謝しております。

ただ、ここ最近は集計率が下がり、コロナ前は80%から現在は50%切る形となっております。調査の内容から集計後の情報発信迄の過程に、問題があるかと苦慮しております。お気付きの事あれば、些細な事でも構いませんので、事務局にご連絡頂けたら幸いです。

今後も老健施設の皆さまにリスク管理等、役立つ情報をお届けできるよう委員一丸となり務めていく所存です。どうぞ、よろしくお願い致します。

|          | 施 設 名       | 氏 名     |
|----------|-------------|---------|
| 担当理事（会長） | や す ら ぎ 園   | 荒 川 太 郎 |
| 担 当 理 事  | 三 面 の 里     | 戸 澤 和 夫 |
| 委 員 長    | 三川しんあい園     | 堀 一二美   |
| 委 員      | 越 南 苑       | 千喜良 由美子 |
|          | サ ン ク ス 米 山 | 白 砂 弘 継 |
|          | 槇 の 里       | 齋 藤 正 範 |
|          | み ず き 苑     | 美 濃 恵 介 |
|          | や ま ぼ う し   | 樽 木 麻 見 |



## 学術研修委員会

A班委員長 女池南風苑 阿部 千賀子

前年度に引き続き、学術研修委員会 A 班委員長を務めさせていただくことになりました、女池南風苑の阿部千賀子と申します。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

学術研修委員会は新潟・下越地区の A 班と、中越・上越地区の B 班に分かれ、それぞれ研修会の企画・運営を担当しています。皆様からいただくアンケートや、他県の研修内容なども参考にしながら、より多くの方にご参加いただける研修を目指して委員一同で検討を重ねています。また、昨年度より老健大会も再開し、今年度は10月2日に開催が決まりました。人手不足の中、演題発表にご協力下さる皆様には心より感謝申し上げます。

また、コロナ禍で入職され、老健大会をご存知ない職員の方も多いかと思います。お忙しいとは存じますが、聴講だけでもぜひご参加いただき、発表や展示をご覧いただくとともに、他施設との交流の機会としていただければ幸いです。

老健大会や各研修会が実りある、楽しい場となるよう、学術研修委員会みんなで取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

B班委員長 グリーンヒル与板 渡部 綾子

この度、学術研修委員会 B 班委員長を務めさせていただくことになりました、グリーンヒル与板の渡部綾子と申します。

昨年度は、6年ぶりに新潟県介護老人保健施設大会が開催され、各研修会ではコロナ前の形に戻し多くの皆様に参加していただきました。また、恒例のノーリフティングケアマネジメント研修会では施設見学研修を新しく試みたところ、見学に行った施設、受け入れた施設双方から、腰痛予防対策だけでない様々な取り組みや工夫を見聞きし、刺激を受け、多くの学びが得られたと高評価をいただきました。

今期も学術研修委員会では、参加される皆様が、「新しい知識を学び、交流し、施設にエネルギーを持ち帰る」そんな研修会を目指し企画運営していきます。老健大会、研修会でお会いしましょう。

|           | 施 設 名       | 氏 名     |
|-----------|-------------|---------|
| 担当理事(副会長) | 常 盤 園       | 佐 野 英 孝 |
| 担 当 理 事   | 女 池 南 風 苑   | 金 沢 宏   |
| A 班 委 員 長 | 女 池 南 風 苑   | 阿 部 千賀子 |
| B 班 委 員 長 | グリーンヒル与板    | 渡 部 綾 子 |
| 委 員       | く び き の     | 山 田 咲 生 |
|           | く わ の 実 の 郷 | 銅 谷 知 将 |
|           | ケアポートすなやま   | 真 保 京太郎 |
|           | 白根ヴィラガーデン   | 片 桐 侑生貴 |
|           | 関 川 愛 広 苑   | 二 村 淳 子 |
|           | 高 田 の 郷     | 松 浦 祐美子 |
|           | 千 歳 園       | 五十嵐 賢 也 |
|           | て ら ど ま り   | 金 子 純 也 |
|           | 桃 李 園       | 佐 藤 達 郎 |
|           | や ま ぼ う し   | 河 俣 優 子 |
|           | 米 山 爽 風 苑   | 木 村 光 江 |
|           | 楽 山 苑       | 水 落 清 吾 |

この度、広報委員長を仰せつかりました、やすらぎ園の岡本直樹と申します。広報委員は12年目、委員長としては6年目になります。感謝の気持ちを忘れずに、誠心誠意努めてまいります。よろしくお願いいたします。

前期は新たな活動として、委員が直接、会員施設へ伺い取材を行いました。今後も同様な取材活動や新たな取り組みにもチャレンジして参りたいと思います。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

最後に今期、広報委員会では半数が新任のメンバーとなり、フレッシュな顔ぶれになります。副会長の田中先生の下、広報伝統の団結力、笑顔溢れるスピリットを発揮し、より良い広報活動が行えるよう皆で協力してまいります。

|           | 施 設 名       | 氏 名     |
|-----------|-------------|---------|
| 担当理事(副会長) | 楽 山 苑       | 田 中 弘   |
| 委 員 長     | や す ら ぎ 園   | 岡 本 直 樹 |
| 委 員       | い い で の 里   | 五十嵐 武 士 |
|           | 越 南 苑       | 松 井 麻 子 |
|           | エバーグリーン     | 小 林 真 理 |
|           | ケアポートすなやま   | 佐 野 宇 広 |
|           | て ら ど ま り   | 白 井 大 湖 |
|           | 松 浜 さ く ら 園 | 藤 村 真 紀 |
|           | 三川しんあい園     | 竹 内 剛   |
|           | や ま ぼ う し   | 須 貝 聡   |
|           | 楽 山 苑       | 佐 藤 歩   |



# 研修会報告

## ノーリフティングケアマネジメント（1部）担当者育成研修会

開催日：令和7年8月29日（金） 会場：長岡介護福祉専門学校あゆみ 参加施設：14施設 参加人数：36名

今回の研修会は、事前に指定された動画を視聴するという課題がありました。動画では、ナチュラルハートフルケアネットワーク代表 下元佳子氏より「ノーリフティングとは医療や福祉の現場から腰痛をなくす取り組みそのものであり、すべての職種・すべての業務において検討、実践しなければならない。ノーリフティングの目的は安全に働ける職場にすることである」との説明がありました。

当日の研修会では、まず介護老人保健施設てらどまり 理学療法士 金子純也氏より自施設の実践紹介が講義形式で行われました。てらどまりでは早くからノーリフティングケアの取り組みが行われましたが職員の腰痛は無くならず、平成30年にノーリフティングケアマネジメント研修会に参加。研修会に参加したことにより取り組むべき方向性が見え、実践により現在腰痛保持者は減少傾向にあるとのことでした。金子氏はノーリフティングケアを定着させるには①腰痛調査とリスク把握②職員教育③個別アセスメントとプランニング④福祉用具の導入・管理、この4点を強固にするために組織全体で取り組むことが重要であると繰り返し説明されていました。

次に介護老人保健施設グリーンヒル与板 総括主任理学療法士 渡部綾子氏より腰痛を防ぐ身体の使い方について講義がありました。渡部氏からは負担の少ない作業姿勢やベッド上での介助の仕方等について、写真を用いながら分かり易い説明がありました。

午後には、午前の講義をもとに実際にスライディングシートや電動ベッドを用いて、参加者同士で体位変換や起き上がりの介助の練習を行いました。その後、参加施設ごとに分かれて自施設のケアの中でどんな場面が腰痛の原因となるかリスクの見積もりを行い、解決策を話し合いました。また、グループに分かれて「施設に戻って取り組むこと」について意見交換を行いました。「福祉用具を正しく使えるようになって、時間が経つと自己流で介助してしまう職員も出てくるので使い方を定期的にチェックする必要がある」「時間がないから福祉用具を使わず持ち上げてしまうという声が出るが、どうすればいいか？」等、それぞれの施設の悩みと解決策を話し合いました。

また、休憩時間には床走行リフトなど福祉用具の体験を行いました。そして後日、既にノーリフティングケアに取り組んでいる施設への見学が行われました。

ノーリフティングケアが各施設で定着するために何をすべきか、具体的な対策が見えてくる良い研修会となりました。



### 参加者の声

- ◆機器の使用だけでなく、自分の体の使い方が大切であるとわかった。
- ◆ノーリフティングの導入方法について細かく学べた。



## ノーリフティングケア研修会（2部）

令和7年度ノーリフティングケア研修会では、1部「担当者育成研修会」を受講し、参加者が自施設の問題点など見出し、問題点への解決法・取り組み方を学ぶことを目的として、2部「施設見学」を実施しました。受入れ施設での取り組み方全般をご紹介していただき、受講者との意見交換・施設見学が行われました。会員施設8施設が受入れ施設として協力していただきました。



## ノーリフティングケア研修会（3部）

開催日：令和8年3月6日（金） 会場：新潟ユニゾンプラザ

今回の研修は、一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワークの下元佳子氏をお迎えし、「ノーリフティングの取り組みの目指すところ」をテーマにご講義いただきました。



午前の部では「ノーリフティングの普及とその歩み」という題目で、下元氏の体験談を交えたお話がありました。介護保険制度が始まる以前は抱え上げが当たり前のケアが多く、スライディングボードやリフトなどの福祉用具も普及していませんでした。また、移乗などの介護技術も現在ほど伝わっておらず、対象者と支援者への負担が非常に大きなものとなっていました。そこで、福祉用具の研修や導入を徹底的に実施しましたが、現場ではなかなか定着しないという問題が起きました。理由は「道具の不足」や「使っている時間がない」というものが多く、「ノーリフト＝労働安

全」という概念が定着していないという現状が見えてきました。ノーリフティングケアは対象者だけでなく、支援者側の腰痛予防や安全にも関わっています。これを読んでいる皆様は「自分が何歳までこの仕事を続けることができるか」を考えたことがあるでしょうか？ノーリフティングは対象者へのケアの質の向上だけでなく、腰痛などの怪我による人材離れの予防にもつながります。「支援者の安全・健康を守ることによって対象者を守る」という考え方をさらに広め、本当に安全で働きやすい業界にしていく必要があるというお話でした。



# 研修会報告



午後の部では、今年度の研修会受講施設から実践報告の発表や紙上報告が行われました。他施設のノーリフティングへの取り組み方や実践方法について見学したことを参考に、自施設にも積極的に情報を取り入れている様子がみられていました。また、他施設の見学がよい刺激になったという意見が多く聞かれていました。他にも、ノーリフティング関連の福祉機器・用具の展示体験や意見交換会も行われ、とても有意義な研修となりました。

## 参加者の声

- ◆下元先生の講義がとてもわかりやすく、改めて働く側の健康や安全について考える事ができた。
- ◆他施設のノーリフトに関する取り組みを知る機会となり、今後委員会で活動していく上で参考となる事が多く、とても良い学びとなった。
- ◆他施設の実践状況を知ることができ、自施設との比較をすることができた。取り入れられるものは少しずつでも取り入れていきたい。
- ◆多くの福祉用具に触れる事ができた良い機会だった。

## 令和 7 年度 事務長会議

開催日：令和8年2月20日（金） 会場：ホテルイタリア軒 参加施設：47施設 参加人数：67名

事務長会主催の事務長会議が令和8年2月20日（金）ホテルイタリア軒にて開催され、47施設67名が参加しました。当日は、全国老人保健施設協会常務理事 / 山梨県老人保健施設協会会長の福田六花氏より、「職員も元気になる令和の老人介護」をテーマに講演いただきました。また全老健共済会の漆間伸之氏、瀬野哲也氏より、総合補償制度の活用法についても説明がありました。その後、グループワークを行い、各々の施設の現状や課題について情報共有を行いました。

事務長会議の後は、懇親会として、研修に引き続いての情報交換や顔の見える関係性づくりの一環として親睦を図ることができ、貴重な機会となりました。



福田先生からの講演の様子



講師の皆さんと懇親会の参加者



## 日々の食事に彩りを

相川愛広苑 管理栄養士 信田 綾美

相川愛広苑は、佐渡の西部に位置し、日本海に沈む美しい夕日を望むことができる自然豊かな施設です。四季折々の風景に囲まれた穏やかな環境の中で、ご利用者の皆さまが安心して楽しく過ごせるよう、日々の食事にもさまざまな工夫を凝らしています。

海に囲まれた地域ということもあり、好きな食べ物を何うと「握り寿司が食べたい」という声が多く寄せられました。そこで今年三月、念願のお寿司バイキングを開催しました。新鮮なネタをご用意し、嚥下調整が必要な方にはネギトロ状にしたネタを提供するなど、見た目にも楽しんでいただけるよう工夫しました。当日は、普段は少食の方が何度もおかわりをされる姿も見られ、「マグロならいくらかでも食べられる」「お寿司屋さんより美味しいね」といった嬉しい声が多く聞かれました。皆さまに心から喜んでいただけたことを実感しています。これからも、ご利用者一人ひとりの「食べたい」「楽しい」という気持ちを大切にしながら、日々の生活に彩りを添える食事の提供に努めてまいります。



## 心と体に寄り添うリハビリを目指して

あすか 支援相談員 石山 亜佐子

通所リハビリテーションあすかでは、「日常生活に特化したリハビリ」を大切にしています。立つ、歩く、座るといった基本動作はもちろん、ご自宅での生活を見据えた実践的な訓練を通じて、一人ひとりの「できる」を増やす支援を行っています。ご利用者様それぞれの生活背景や目標に寄り添いながら、無理なく継続できるリハビリを提供し、日々の困りごとの軽減につなげています。また、当施設では定期的に移動販売が来園し、買い物を楽しんでいただく機会を設けています。品物を選ぶ、手に取る、支払いをする、といった一連の動作も大切な生活リハビリの一環です。外出が難しい方にも、生活の楽しみや社会とのつながりを感じていただける取り組みとして好評をいただいています。さらに音楽ボランティアの来園など、心を豊かにする活動にも力を入れています。懐かしい音楽に触れたり、歌ったりする時間は、自然と笑顔を引き出し、心身のリフレッシュにつながります。身体の健康だけでなく、「楽しみ」や「癒し」といった心の健康も大切にしながら、安心して過ごせる場づくりを目指しています。これからも、地域に根ざした通所リハビリとして、ご利用者様の生活を支え、より豊かな毎日につながる支援を目指してまいります。





## 安全に、おいしく、笑顔へつながる食事支援

そよかぜ倶楽部 管理栄養士 矢代 麻衣



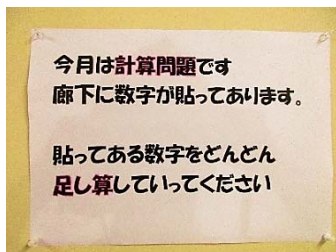
そよかぜ倶楽部は、「からだづくりと暮らしやすさのお手伝い」をモットーに、リハビリテーションを通じて、ご利用者・ご家族の皆様が快適に自分らしく在宅生活（日常生活）を送れるよう支援しています。栄養係では、ご利用者一人ひとりの健康状態や嚥下機能、嗜好に配慮し、個性を大切にした食事提供を行っています。常食からミキサー食まで6種類の食事形態を設け、ご利用者それぞれの状態に合わせた安全で食べやすい食事を提供しています。また、直営厨房の強みを活かし、きめ細やかな調整や迅速な対応が可能であり、ご利用者に寄り添った食事づくりを心がけています。さらに、法人敷地内の廊下でつながる特別養護老人ホームとの合同厨房として連携し、効率的かつ安定した運営のもとで質の高い食事提供に努めています。加えて、季節や行事に合わせた行事食を取り入れ、食べる楽しみや生活の彩りを大切に、栄養面から健康維持と生活の質の向上を支えています。



## レッツ！楽しくリハビリ

国府の里 介護福祉士 西山 唯

国府の里は眼下に日本海を望み、目の前には五智国分寺の三重の塔を眺めることができます。通所リハビリでは要支援1から要介護4の方が利用され日々、リハビリに取り組まれています。令和2年からコロナ禍により活動範囲に制限が必要となりました。そんな中でも楽しみながらリハビリが出来るよう様々な取り組みを行ってきました。その一つとして、馴染みのあるキャラク



ターや季節に合った作品を折り紙で作成し、廊下の至る所に隠し貼り、探しながら歩行をするという二重課題の導入です。始めは歩きながら探す事が難しく全てを見つける事が出来ない方も多かったですが、ご利用者同士で「何個あった?」「数が合わないわ」「あと一つが見つからない」等と会話をしながら歩行することでご利用者間や職員とのコミュニケーションのきっかけにもなっています。また、繰り返し探すことで、一日の歩行距離が増加する方もいらっしゃいました。現在は、廊下に数字を貼り計算問題を解きながら歩行練習を行なっています。歩きながら計算をするなどの二重課題の遂行は転倒予防や認知症予防の他に思考力の向上、ストレスの軽減、創造性の向上に有益と言われています。毎週数字を変え、答えを変える事で飽きのこないよう工夫し皆様で答え合わせをしながら楽しんで取り組んでいただいています。歩行練習は単調になりやすく、意欲が低下しやすい為、今後でも利用者が少しでも楽しんでリハビリが継続できるよう様々な工夫をしていきたいと思っています。

## 笑顔あふれるリハビリ活動 「ひまわり会」を新設しました！

サンプラザ長岡 作業療法士 金子 沙弥香、中林 由華

2025年11月に当施設で実施した利用者アンケートで「もっとリハビリがしたい」というご意見が寄せられました。これを受け、2026年3月より、利用者様が普段と違った活動に取り組める場として「ひまわり会」を設立しました。ひまわり会の名称については、ひまわり＝「明るい」というイメージがあり、利用者様が、明るく笑顔で活動できるような会を提供したいという思いから命名しました。

様々な利用者様に合わせられるよう、寝たきりの方々と座りながら運動できる方々を分けて、3部制で実施しています。寝たきりの方々には、触覚・視覚・聴覚への刺激を入れながら反応を引き出せるよう、ポジショニングや歌の提供を行っています。座りながら運動できる方々には、体を動かしながら他者と交流を持つことで、気分転換や仲間づくり、体力の維持を図ることを目的として、風船バレーや、笑いを取り入れた運動を実施しています。

まだまだ設立から日も浅いですが、「これでみんなの心が一つになりました」「これが楽しみ」「よかったー」「素晴らしかった」「またこんな感じの曲がいい」など、活動を楽しんでいる感想や次回へのリクエストも聞かれ、とても良い反応を引き出すことができていると感じています。スタッフも利用者様も笑顔が絶えず、自然と周囲の方々も参加される様子も見られます。今後も利用者様の希望に合わせた会を運営していきたいです。



## “思い出に残る写真”を撮る

三面の里 事務受付 関根 小也香

三面の里では、利用者様毎に写真アルバムをお渡しして、月行事の写真を入れておけるようにしています。写真アルバムを見返した時に、“楽しかったこと”や“何をしたか”などを思い返して、ご家族が面会に来た時などお話ししてもらえたらいいなと思っています。施設内にいても“写真映え”のために、職員で協力してヒマワリや桜などの季節を感じる花を作って、記念写真が撮れるようにフォトスペースを用意するようにしています。手作りのお花も利用者様に「きれいだね」「本物みたい」と喜んでいただけて、嬉しいです。写真の桜は、天気がとてもよく満開の時にバスドライブして来た時のものです。春から秋までの暖かい日にはバスドライブに積極的に出かけ、外の空気を楽しんでいただいています。また、月行事ではオリジナルのオリンピックメダルを月担当職員が作成してくれました。1着でゴールした方に手渡されると、とても盛り上がり楽しんでいただけました。これからも利用者様の“思い出に残る写真”を撮れるように職員一同協力していきたいです。





### 目標は「一人で行く」こと

やすらぎ園 介護福祉士 川津 吉寛

利用者一人ひとりの「やりたい」という思いに寄り添うことは、私たちの支援の原点です。今回、左麻痺のある利用者から「もう一度ボーリングに行ってみたい」という希望が聞かれました。その言葉の背景には、「自分の力でできることを増やしたい」という思いが感じられました。そこで、私たちは、「一人でボーリングに行けるようになること」を目標にリハビリを開始しました。



移動やバランス練習に加え片手でのボール操作や靴の履き替え、受付や会計のやり取りなど、実際の場面を想定しながら準備を重ねました。また、不安の軽減を図るため、動線の確認や手順の整理も行い、自信を持って行動できるように支援しました。

そして迎えた当日、職員が見守る中、受付から投球、終了後の手続きまでを一人でやり遂げることができました。最初からリラックスした様子で、ボーリングを楽しみながら、自らの判断で行動される姿が印象的でした。

実際に行ってみることで新たな課題も見えましたが、それ以上に「できた」という達成感と自信に満ちた表情が見られ、今後の生活への大きな一歩となりました。今後も利用者の思いに寄り添い、その人らしい生活の実現を支援していきます。

### “やりたい”の実現に向かうことを大切に

米山爽風苑 作業療法士 安達 知世



昨年末に餅をつき、鏡餅を作りました。熱々の餅を手慣れた手つきで丸くしてできた鏡餅の美しいこと！すると、「小正月に鏡開きだな」「割った餅はあられにするんだ」と、餅にちなんだ作業を次々と教えてくれました。鏡餅を割った後は「いつあられ作る？楽しみ！」と話してくださる方もいて、細かく割って乾燥させて3月に雛あられ作りを行いました。餅の大きさを仕分けながら、初めて会う方とでも自然と作業が分担され、手が空いた方は「私が先に炒りはじめようか？」と、さすがのお母さん方でした。また、職員に「火がある所でバタバタしない事！」と、まるで家にいるような自然な発言に、砂糖醤油の味付けは「適当！」と言いつつとても美味しく出来上がりました。「こっち来て、食べてみて」と、人にふるまいたい、という気持ちが他者交流にもつながりました。本来のその人らしさが現れた作業だったと思います。

これからも意味のある大切な作業が途切れることなく繋がるように、経験と知恵を聴きながらその人の「やりたい」を大切に支援を行っていききたいと思います。

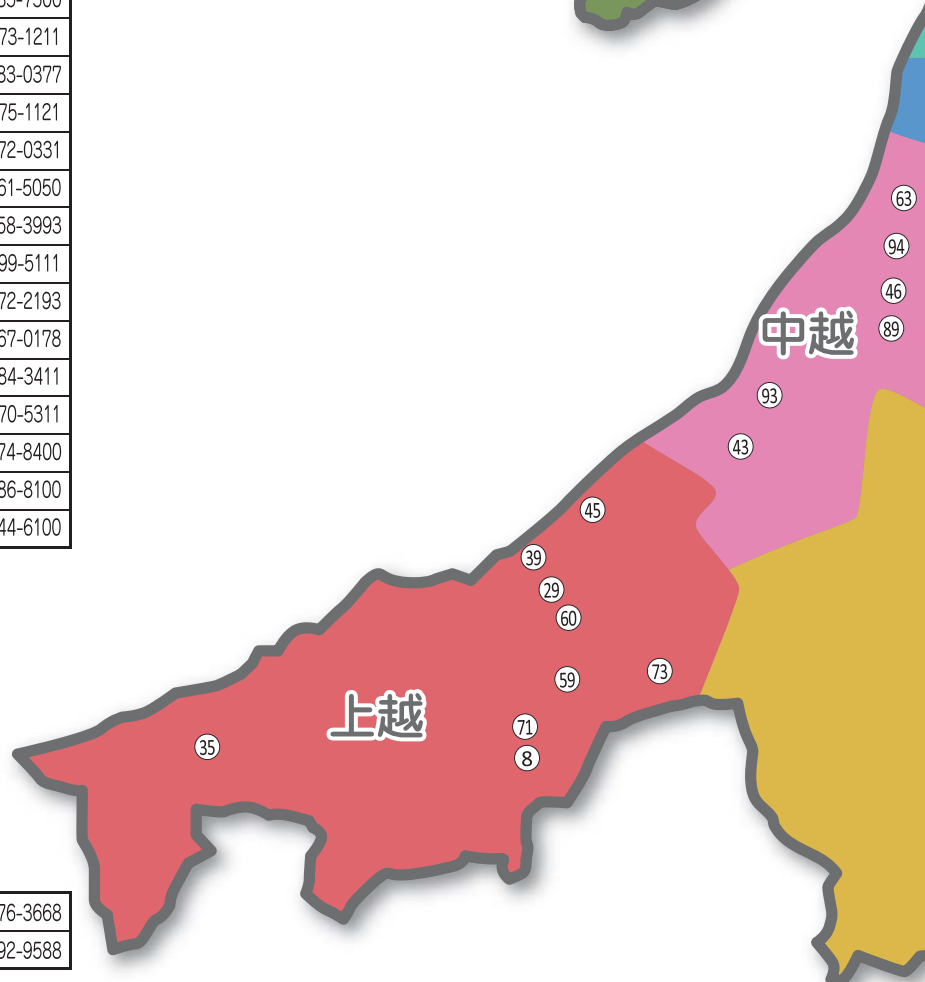




# 新潟県 老

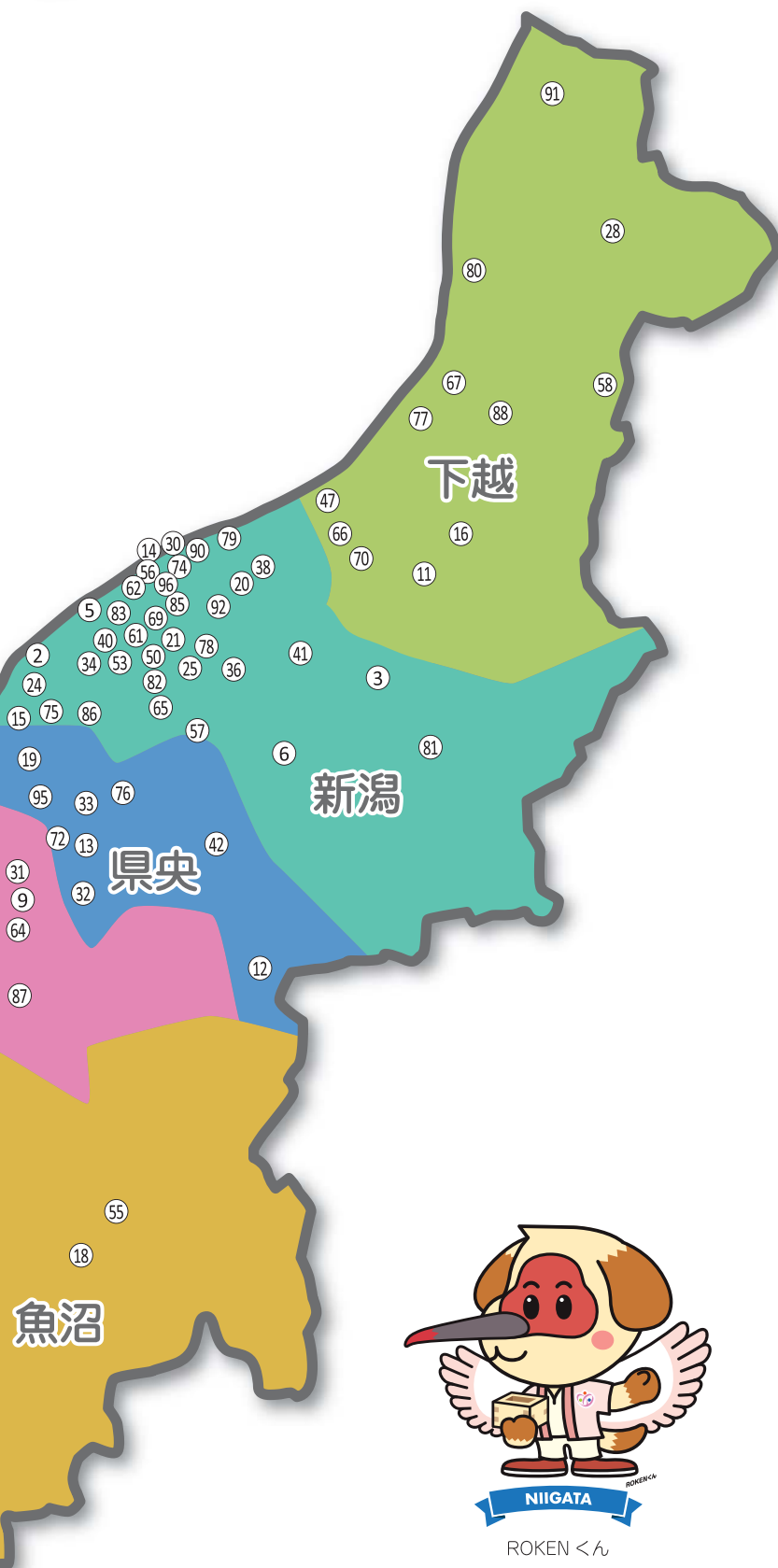
|             |    |           |           |             |              |
|-------------|----|-----------|-----------|-------------|--------------|
| 新潟県<br>佐渡地区 | 2  | あかつか苑     | 〒950-2261 | 新潟市西区赤塚     | 025-239-0021 |
|             | 3  | 阿賀の庄      | 〒959-2221 | 阿賀野市保田      | 0250-68-1700 |
|             | 5  | あすか       | 〒950-1122 | 新潟市西区木場     | 025-377-1771 |
|             | 6  | 愛宕の里      | 〒959-1707 | 五泉市村松       | 0250-58-6891 |
|             | 14 | 入舟        | 〒951-8011 | 新潟市中央区入船町   | 025-224-9064 |
|             | 15 | いわむろの里    | 〒953-0103 | 新潟市西蒲区橋本    | 0256-82-5040 |
|             | 20 | 大江山園      | 〒950-0105 | 新潟市江南区大湊    | 025-276-2801 |
|             | 21 | おぎの里      | 〒956-0012 | 新潟市秋葉区荻野町   | 0250-25-3071 |
|             | 24 | 回生園       | 〒959-0425 | 新潟市西蒲区押付    | 0256-70-4400 |
|             | 25 | 亀田園       | 〒950-0168 | 新潟市江南区早通    | 025-383-1777 |
|             | 30 | くわの実の郷    | 〒950-0036 | 新潟市東区空港西    | 025-278-7719 |
|             | 34 | ケアポートすなやま | 〒950-2044 | 新潟市西区坂井砂山   | 025-268-9000 |
|             | 36 | 健進館       | 〒956-0025 | 新潟市秋葉区古田    | 0250-23-5152 |
|             | 38 | 江風苑       | 〒950-3364 | 新潟市北区大迎     | 025-387-7111 |
|             | 41 | 五頭の里      | 〒959-2093 | 阿賀野市岡山町     | 0250-62-2780 |
|             | 50 | 白根ヴィラガーデン | 〒950-1203 | 新潟市南区大通黄金   | 025-362-0777 |
|             | 53 | 健やか園      | 〒950-2023 | 新潟市西区小新     | 025-232-5300 |
|             | 56 | 晴和会上所園    | 〒950-0993 | 新潟市中央区上所中   | 025-280-0800 |
|             | 61 | 第二にいがた園   | 〒950-1144 | 新潟市江南区祖父興野  | 025-285-1800 |
|             | 62 | 千歳園       | 〒950-0965 | 新潟市中央区新光町   | 025-285-7500 |
|             | 65 | 常盤園       | 〒950-1262 | 新潟市南区西白根    | 025-373-1211 |
|             | 69 | にいがた園     | 〒950-0951 | 新潟市中央区鳥屋野   | 025-283-0377 |
|             | 74 | ほほえみの里きど  | 〒950-0891 | 新潟市東区上木戸    | 025-275-1121 |
|             | 75 | 榎の里       | 〒953-0041 | 新潟市西蒲区巻甲    | 0256-72-0331 |
|             | 78 | マチュアハウス横越 | 〒950-0217 | 新潟市江南区阿賀野   | 0250-61-5050 |
|             | 79 | 松浜さくら園    | 〒950-3112 | 新潟市北区太夫浜    | 025-258-3993 |
|             | 81 | 三川しんあい園   | 〒959-4626 | 阿賀町あが野南     | 0254-99-5111 |
|             | 82 | みずき苑      | 〒950-1215 | 新潟市南区助次右工門組 | 025-372-2193 |
|             | 83 | みそのぴあ     | 〒950-2002 | 新潟市西区青山     | 025-267-0178 |
|             | 85 | 女池南風苑     | 〒950-0943 | 新潟市中央区女池神明  | 025-284-3411 |
|             | 86 | めぐみ園      | 〒959-0516 | 新潟市西蒲区国見    | 0256-70-5311 |
|             | 90 | 有楽園       | 〒950-0012 | 新潟市東区有楽     | 025-274-8400 |
|             | 92 | 陽光園       | 〒950-0923 | 新潟市中央区姥ヶ山   | 025-286-8100 |
|             | 96 | 緑樹苑       | 〒950-0983 | 新潟市中央区神道寺   | 025-244-6100 |

|      |    |        |           |         |              |
|------|----|--------|-----------|---------|--------------|
| 佐渡地区 | 1  | 相川愛広苑  | 〒952-1646 | 佐渡市相川大浦 | 0259-61-2800 |
|      | 22 | 親里     | 〒952-0015 | 佐渡市住吉   | 0259-24-7310 |
|      | 54 | すこやか両津 | 〒952-0006 | 佐渡市春日   | 0259-23-5171 |



|      |    |     |           |         |              |
|------|----|-----|-----------|---------|--------------|
| 魚沼地区 | 18 | 越南苑 | 〒949-7101 | 南魚沼市五日町 | 025-776-3668 |
|      | 55 | 清流苑 | 〒946-0031 | 魚沼市原虫野  | 025-792-9588 |

# 健マップ



|      |    |           |           |         |              |
|------|----|-----------|-----------|---------|--------------|
| 下越地区 | 11 | いいでの里     | 〒957-0014 | 新発田市金谷  | 0254-22-5802 |
|      | 16 | ヴィラ菅谷     | 〒959-2516 | 新発田市下石川 | 0254-31-2000 |
|      | 28 | 杏園        | 〒958-0261 | 村上市猿沢   | 0254-60-2222 |
|      | 47 | 汐彩の郷      | 〒957-0105 | 聖籠町次第浜  | 0254-28-0555 |
|      | 58 | 関川愛広苑     | 〒959-3261 | 関川村湯沢   | 0254-60-4025 |
|      | 66 | 豊浦愛広苑     | 〒959-2311 | 新発田市荒町甲 | 0254-21-0065 |
|      | 67 | 中条愛広苑     | 〒959-2619 | 胎内市十二天  | 0254-46-5600 |
|      | 70 | 二王子       | 〒957-0332 | 新発田市虎丸  | 0254-25-3737 |
|      | 77 | マチュアハウス中条 | 〒959-2708 | 胎内市中村浜  | 0254-45-5111 |
|      | 80 | 三面の里      | 〒958-0854 | 村上市田端町  | 0254-53-5330 |
|      | 88 | やまぼうし     | 〒959-2805 | 胎内市下館   | 0254-47-3303 |
|      | 91 | 優和の里      | 〒959-3942 | 村上市勝木   | 0254-60-5000 |

|      |    |         |           |         |              |
|------|----|---------|-----------|---------|--------------|
| 県央地区 | 12 | いっばく    | 〒955-0132 | 三条市長野   | 0256-41-3810 |
|      | 13 | いっばく2番館 | 〒959-1117 | 三条市帯織   | 0256-45-0380 |
|      | 19 | エバーグリーン | 〒959-0211 | 燕市富永    | 0256-92-3030 |
|      | 32 | ケアプラザ見附 | 〒954-0052 | 見附市学校町  | 0258-63-5100 |
|      | 33 | ケアホーム三条 | 〒955-0833 | 三条市大野畑  | 0256-32-7711 |
|      | 42 | さくら苑    | 〒959-1327 | 加茂市千刈   | 0256-53-5353 |
|      | 57 | 晴和会田上園  | 〒959-1512 | 田上町羽生田乙 | 0256-46-7777 |
|      | 72 | ぶんすい    | 〒959-0113 | 燕市笈ヶ島   | 0256-91-3333 |
|      | 76 | マザリー三条  | 〒955-0053 | 三条市北入蔵  | 0256-38-7500 |
|      | 95 | 「楽楽」    | 〒959-1263 | 燕市大曲    | 0256-62-2671 |

|      |    |          |           |          |              |
|------|----|----------|-----------|----------|--------------|
| 中越地区 | 9  | あらまち     | 〒940-0025 | 長岡市泉     | 0258-30-0388 |
|      | 31 | グリーンヒル与板 | 〒940-2416 | 長岡市与板町横原 | 0258-72-2500 |
|      | 43 | さつき荘     | 〒945-1355 | 柏崎市軽井川   | 0257-23-6255 |
|      | 46 | サンプラザ長岡  | 〒940-2111 | 長岡市三ツ郷屋町 | 0258-27-1515 |
|      | 63 | てらどまり    | 〒959-0152 | 長岡市寺泊下桐  | 0256-97-3200 |
|      | 64 | 桃李園      | 〒940-2126 | 長岡市西津町   | 0258-47-3003 |
|      | 87 | やすらぎ園    | 〒940-1111 | 長岡市町田町   | 0258-33-5551 |
|      | 89 | 悠遊苑      | 〒940-2138 | 長岡市日越    | 0258-47-8511 |
|      | 93 | 米山爽風苑    | 〒945-1392 | 柏崎市茨目    | 0257-22-0111 |
|      | 94 | 楽山苑      | 〒940-2301 | 長岡市宮沢    | 0258-42-3500 |

|      |    |             |           |            |              |
|------|----|-------------|-----------|------------|--------------|
| 上越地区 | 8  | 新井愛広苑       | 〒944-0331 | 妙高市小原新田    | 0255-81-1181 |
|      | 29 | くびきの        | 〒943-0834 | 上越市西城町     | 025-526-2161 |
|      | 35 | アグリコートいといがわ | 〒941-0067 | 糸魚川市横町     | 025-553-2682 |
|      | 39 | 国府の里        | 〒942-0081 | 上越市五智      | 025-544-2525 |
|      | 45 | サンクス米山      | 〒949-3255 | 上越市柿崎区上下浜  | 025-536-6622 |
|      | 59 | そよかぜ倶楽部     | 〒943-0864 | 上越市今泉      | 025-522-8700 |
|      | 60 | 高田の郷        | 〒943-0147 | 上越市新南町     | 025-526-2558 |
|      | 71 | はねうまの里      | 〒944-8501 | 妙高市田町      | 0255-72-3199 |
|      | 73 | 保倉の里        | 〒942-0314 | 上越市浦川原区顕聖寺 | 025-599-3990 |



# みんなの広場

## 相川愛広苑

春を感じながら利用者様と制作しました。花は指先の運動を目的に丁寧に仕上げて下さいました。完成には、「できた」という喜びを大切にしながら活動を行っています。



## あすか

色とりどりの折り紙を紙コップに貼り、切り開くと大輪の花火に変身。指先を使いながら、思い思いの配色で個性あふれる作品が完成しました。夏らしい華やかなひとときとなりました。



## そよかぜ倶楽部

春の壁飾りです。様々な柄のクローバーとてんとう虫ができました。折り紙を折る方、パーツを貼り付ける方、てんとう虫の柄を描く方々作業を分担し、ワイワイ楽しみながら作成しました。



## 国府の里

お花紙を丸め作品を作っています。「何になるの？」と話題が広がります。出来上がりに入所者と達成感を共有しています。



## サンプラザ長岡

「最近ダルマを見ないね」との声をきっかけに、だるま製作を行いました。紙を貼り合わせる工程では皆様の様々な表情が見られ、作品も形や表情に個性が表れました。お互いの様子を見て笑いあう姿に「笑う門には福来る」を感じた時間となりました。



## 三面の里

春の記念撮影用に、桜を作成しました。お花紙の花びらを5枚合わせて1輪ずつ作り、満開の夜桜が出来上がりました。本物の桜を張り付けたかと思う程にキレイな出来栄で、いい記念写真を残すことができました。



## やすらぎ園

季節に合わせた作品作りに取り組み、ご利用者の出来ることを大切にしながら職員と一緒に進めています。ご利用者同士のコミュニケーションも活性化され、楽しみながら取り組んでいます。



## 米山爽風苑

通所リハビリでは毎月壁面飾り作りをしています。3月のテーマはタケノコ。作品作りの中での交流や役割分担を通して、利用者さんそれぞれの経験や力が発揮されています。皆さんのこだわりが反映された作品はいつも好評です。



## 編集後記

執筆依頼に際して快くお引き受けいただいた会員施設の皆様のおかげで、無事に「老健にいがた」第59号を発行できました。また、日頃から研修会等に参加していただいている皆様の協力によって研修会報告や老健大会の様子などを発信できていることに感謝申し上げます。

この号が発刊される頃には、気温が上がり、熱中症対策に追われていると思います。令和8年4月に気象庁が、最高気温が40℃以上の日について新たに名称を定めるべく、ホームページでアンケートを行い、結果を公表しました。今後、最高気温40℃以上の日は「酷暑日」と呼ばれます。年々、耐えられない暑さを迎えそうですが、ご利用者とともにバテない体作りや暑さ対策をして乗り切りましょう。(広報委員一同)

新潟県介護老人保健施設協会広報誌

## 「老健にいがた」第59号

編集・発行 新潟県介護老人保健施設協会  
広報委員会

〒940-1111 長岡市町田町555番地  
老人保健施設 やすらぎ園内  
TEL (0258) 33-5551  
FAX (0258) 32-5777  
URL <http://niigata-rouken.org/>  
印刷 有限会社フジプリント